

この木なんの木?ぼくたちの木! ~身近な自然に親しむ環境体験学習の取り組み~

明石市立魚住小学校3年一同

わたしたちの通う魚住小学校は、明石市の魚住町という町にあります。明石市には大きな森はあまりありませんが、魚住町には、緑と自然のゆたかな金ヶ崎公園があります。この活動は今年で7年目になりますが、わたしたちは、一年に4回から5回、いろいろな季節に金ヶ崎公園に行って、自然や生きものを観察しています。

金ヶ崎公園では、4人から5人のグループに分かれて観察しています。いろいろなものを観察しますが、特に1本の木を選んで、その木と、その周りにいる虫や鳥をよく観察します。観察したことや気づいたことはワークシートに記録します。ネイチャーゲームもします。森の中で気をつけることや、危ない生きものも教えてもらいます。学校の先生、森の探偵団の人たち(里山保全と環境学習を支援する市民グループ)、くすのき応援隊の人たち(子どもたちの保護者のグループ)、地域の人たちと一緒に活動しています。

まとめは学校で行います。観察した木、そのまわりの虫、野鳥など生きものをつながりを思い出しながら、一つの物語を考えて、絵本を作ります。作った絵本は、学校や地域の発表会でみんなに見てもらいます。共生のひろばでは、わたしたちの作った絵本と、活動の内容をまとめたパネルを展示します。

